

				決算事項別明細書		P105			
大事業	30	防災・防犯		担当部署		消防総務課			
中事業	10	消防・防災対策の充実		予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	常備消防費			款	09 消防費			
事業開始年度		令和元年度			項	01 消防費			
事業進捗度		-			目	01 常備消防費			
当初予算額			74,949,000 円	目的	常備消防として各種災害に対応するため、職員の資質向上と消防資機材の維持管理を図ることにより、迅速な消防防災活動を行い、災害の予防及び被害の軽減を図るもの。				
予算現額			73,020,000 円						
決算額 A			71,551,727 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	使用料外	3,944,297 円						
	一般財源		67,607,430 円						
人件費コスト B		72.0人役	547,416,000 円				総事業費 A+B	618,967,727 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【防災体制の構築事業】	67,305,360円	0円	0円	3,944,297円	63,361,063円

救急救命士の養成と高度な応急処置実施のために、医療機関での実習（就業前実習、薬剤投与、気管挿管実習等）を行い、医学会への参加や医療機関との連携を通じ救急体制の整備を図った。

また、多様な災害に対処できる高度な能力を持つ消防職員の育成や通常の災害から大規模な災害まですべて対処可能にし、住民の安心安全を確保するための資機材整備を図った。

成果指標	目標値	実績値	差引
応急手当の実施率 (%)	80.0	61.4	△18.6

- 旅費 4,249,310 円
 - ・消防学校、消防大学校、救命士研修所 延べ15人 2,391,990 円
 - ・その他研修、会議旅費 延べ109人 1,857,320 円
- 需用費 22,584,521 円
 - ・消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、被服費

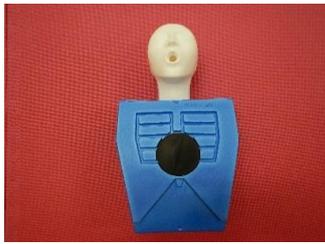


救助隊用救助服 12着



安全帯 17個

- 役務費 7,315,854 円
 - ・通信運搬費、手数料、保険料
- 委託料 17,264,139 円
 - ・保守管理委託料 外
- 使用料及び賃借料 1,953,810 円
 - ・使用料、敷地借上料 外
- 備品購入費 4,930,688 円
 - ・庁用器具費（本署用プリンター） 125,280 円
 - ・器具費 4,805,408 円



救急訓練用人形 20体



消防用ホース 44本



デジタル無線設備L2SW



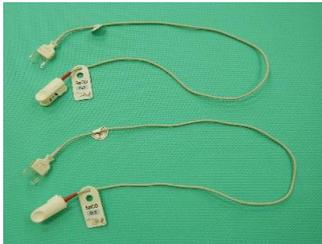
防火衣一式 8式



空気呼吸器用ポンペ 3本



ドライブレコーダー 2台



リユーズブルセンサー 2本



リユーズブル延長ケーブル 2本



予防啓発用DVD

●負担金補助及び交付金	6,998,780 円
・消防学校、消防大学校 外 各種研修負担金	3,941,844 円
・協議会、防火委員会、消防長会 外 負担金	3,056,936 円
●その他	224,964 円
・報償費、消防長交際費 外	
●社会保険料	249,294 円
●賃金	1,534,000 円
・臨時雇用賃金 (1人分)	

【消防車両維持管理事業】 4,246,367円 0円 0円 0円 4,246,367円

消防車両の整備維持管理は、災害時の適切且つ迅速な対応を可能にするためには不可欠で、消防車両点検、整備を図り、災害による被害を軽減することに対応した。

●需用費	2,206,513 円
・修繕料	
●役務費	1,049,954 円
・手数料 (12カ月点検 外)	361,319 円
・保険料 (自賠責保険、共済保険)	688,635 円
●公課費	989,900 円
・自動車重量税 (20台)	

				決算事項別明細書		P105																				
大事業	30	防災・防犯		担当部署		消防総務課																				
中事業	10	消防・防災対策の充実		予算科目	会計	01 一般会計																				
小事業	25	非常備消防費			款	09 消防費																				
事業開始年度		令和元年度			項	01 消防費																				
事業進捗度		-			目	02 非常備消防費																				
当初予算額		91,090,000 円		目的	消防団員の資質向上と消防資機材の維持管理等を行い、火災を予防し水害や地震等から被害の軽減を図るもの。																					
予算現額		84,204,000 円																								
決算額 A		82,475,710 円																								
財源内訳	国・県支出金	国1/3	205,000 円																							
	地方債		0 円																							
	その他	基金外	21,824,725 円																							
	一般財源		60,445,985 円																							
人件費コスト B		5.0人役	38,015,000 円	総事業費 A+B	120,490,710 円																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【消防団体制の構築事業】</td> <td>75,523,340円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>21,726,725円</td> <td>53,796,615円</td> </tr> </tbody> </table> <p>消防団は、災害現場での活動や日頃の地域住民への防災指導などの地域防災力の中枢をなすものである。災害状況によっては消防団の活動も広範且つ長時間に及ぶもので、その対応能力を更に向上させるために訓練実施や消防学校への研修派遣を行い、地域防災力向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防団員数（人）</td> <td>720人</td> <td>690人</td> <td>△30人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●報酬 27,926,832 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員報酬（694人） 15,890,832 円 ・機械器具手入れ報酬（自動車45台） 945,000 円 ・訓練出動報酬（延べ2,120人） 6,360,000 円 ・災害出動報酬（火災417人、台風対応13人、台風警戒341人 延べ771人） 2,571,000 円 ・火災予防警戒パトロール（春・秋火災予防週間）（延べ439人） 1,317,000 円 ・操縦者等報酬（自動車45台、ラッパ隊手当11人） 843,000 円 ●災害補償費 23,736 円 <ul style="list-style-type: none"> ・公務災害補償費（1名） ●報償費 15,346,810 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員退職報償金（46人） 15,095,000 円 ・安来市消防団協力隊謝礼（42人） 117,600 円 ・その他 134,210 円 ●旅費 3,938,600 円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償、普通旅費 ●需用費 8,727,178 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 792,641 円 ・燃料費 684,069 円 ・被服費 5,992,003 円 ・その他（印刷製本費、光熱水費、修繕費） 1,258,465 円 ●負担金補助及び交付金 18,949,838 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員退職報償金掛金（776人） 14,899,200 円 ・消防団員福祉共済掛金（693人） 2,079,000 円 ・公務災害補償費共済掛金 1,612,748 円 ・防火防災訓練災害補償費等共済掛金 39,000 円 ・その他 319,890 円 							【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【消防団体制の構築事業】	75,523,340円	0円	0円	21,726,725円	53,796,615円	成果指標	目標値	実績値	差引	消防団員数（人）	720人	690人	△30人
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																					
【消防団体制の構築事業】	75,523,340円	0円	0円	21,726,725円	53,796,615円																					
成果指標	目標値	実績値	差引																							
消防団員数（人）	720人	690人	△30人																							



ヘッドライト 270個



耐切創手袋 667双

●その他（通信運搬費、手数料、敷地借上料 外） 610,346 円

【消防団車両等維持管理事業】 3,954,890円 0円 0円 0円 3,954,890円

消防車両の整備維持管理は、災害時の適切且つ迅速な対応を可能にするためには不可欠で、適正な消防車両の維持管理を図り、災害による被害を軽減することに対応した。

- 需用費 2,139,710 円
 - ・修繕料
- 役務費 1,107,180 円
 - ・手数料（12カ月点検 外） 274,982 円
 - ・保険料（自賠責保険、共済保険） 832,198 円
- 公課費 708,000 円
 - ・自動車重量税（25台）

【消防団員用器具費購入事業】 2,997,480円 205,000円 0円 98,000円 2,694,480円



トランシーバー 45器



消防団員用防火衣 5着



消防用ホース



投光器一式

大事業	30	防災・防犯	担当部署	消防総務課		
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	30	常備消防施設費		款	09 消防費	
事業開始年度		令和元年度		項	01 消防費	
事業進捗度		—		目	03 消防施設費	
当初予算額		100,500,000 円	目的	消防施設及び設備の整備拡充を行うことにより、各種の災害に初動から迅速かつ効果的に対応し、被害の軽減を図るもの。		
予算現額		100,500,000 円				
決算額 A		99,858,070 円				
財源内訳	国・県支出金	国1/2				12,152,000 円
	地方債	過疎				84,300,000 円
	その他					0 円
	一般財源					3,406,070 円
人件費コスト B		5.0人役 38,015,000 円	総事業費 A+B	137,873,070 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【消防庁舎維持管理事業】	880,070円	0円	0円	0円	880,070円

24時間出動態勢を確保し、消防業務を円滑に遂行するため、消防施設を適正に維持管理し更に施設整備を充実させ、業務効率を高める職場環境の確保を図った。

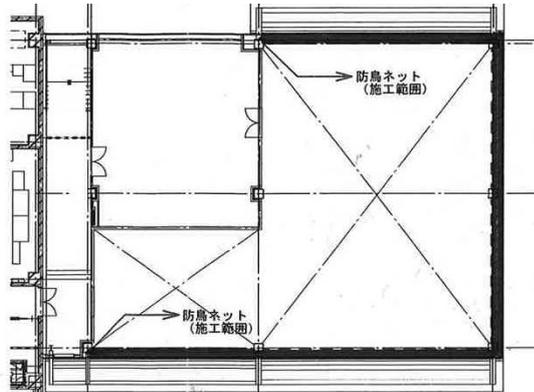
●需用費

- ・修繕料（維持）

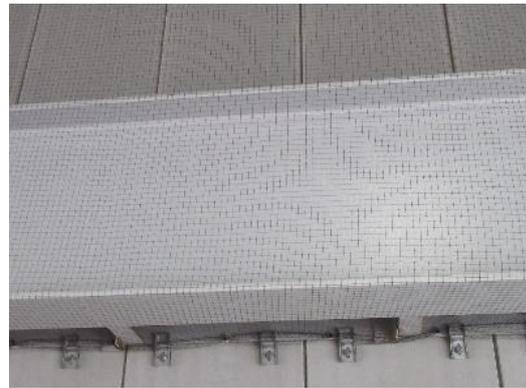
462,620 円

●工事請負費

417,450 円



施工範囲



施工状況

本署車庫防鳥ネット設置工事

【機械器具購入事業】	98,978,000円	12,152,000円	84,300,000円	0円	2,526,000円
------------	-------------	-------------	-------------	----	------------



13mブーム付多目的消防ポンプ自動車



				決算事項別明細書		P107
大事業	30	防災・防犯		担当部署		消防総務課
中事業	10	消防・防災対策の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	非常備消防施設費			款	09 消防費
事業開始年度		令和元年度			項	01 消防費
事業進捗度		-			目	03 消防施設費
当初予算額		38,629,000 円		目的	消防団施設及び設備の整備拡充を図り、安全で安心な住みよい地域づくりを目指すもの。	
予算現額		36,636,000 円				
決算額 A		35,991,228 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債	緊防	31,300,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		4,691,228 円			
人件費コスト B		4.0人役	30,412,000 円	総事業費 A+B	66,403,228 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【非常備消防体制の構築事業】	35,991,228円	0円	31,300,000円	0円	4,691,228円

資機材及び施設を整備し消防力の充実強化を図り、年々多様化する災害への対応を図った。
 荒島分団に消防ポンプ自動車、布部分団へ小型動力ポンプ付積載車を整備した。
 市内5カ所に消火栓を新設した。

●需用費

・修繕料（維持） 696,370 円

●手数料 防火水槽枠 区画線塗装 144,650 円

●工事請負費 2,542,080 円

・黒鳥消防ポンプ車庫シャッター改修工事 271,080 円

・荒島分団給水引込工事 1,274,400 円

・下山佐、下布部ホース乾燥塔撤去工事 996,600 円



着工前



竣工

黒鳥消防ポンプ車庫シャッター改修工事



着工前



竣工

ホース乾燥塔撤去工事（下山佐）



着工前



竣工

ホース乾燥塔撤去工事（下布部）

●備品購入費

28,710,000 円



消防ポンプ自動車（荒島分団配備）



小型動力ポンプ付積載車（布部分団配備）



●負担金補助及び交付金

3,898,128 円

- ・消火栓新設工事負担金

3,820,368 円



広瀬町町帳



植田町



広瀬町梶福留



東赤江町



伯太町西母里

新設消火栓整備箇所 5カ所

- ・上水道加入負担金

77,760 円

						決算事項別明細書		P107													
大事業	30	防災・防犯			担当部署		消防総務課														
中事業	10	消防・防災対策の充実			予算科目	会計	01	一般会計													
小事業	40	水防費				款	09	消防費													
事業開始年度		令和元年度				項	01	消防費													
事業進捗度		-				目	04	水防費													
当初予算額		670,000 円			目的	災害（洪水・高潮等）による被害を未然に防止し、市民の生命・財産を守り、安全で安心な地域づくりを目指すもの。															
予算現額		130,000 円																			
決算額 A		99,291 円																			
財源内訳	国・県支出金		0 円																		
	地方債		0 円																		
	その他		0 円																		
	一般財源		99,291 円																		
人件費コスト B		2.0人役	15,206,000 円		総事業費 A+B		15,305,291 円														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【水防活動事業】</td> <td>99,291円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>99,291円</td> </tr> </tbody> </table> <p>災害の規模、状況等に応じて消防職団員を招集し、警戒パトロール、広報活動や情報収集を行ったもの。また、災害が発生した場合は、水防倉庫内の資機材を活用するため、倉庫の維持管理や資機材整備を行った。</p> <p>●需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（ブルーシート 他） 99,291 円 										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【水防活動事業】	99,291円	0円	0円	0円	99,291円
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
【水防活動事業】	99,291円	0円	0円	0円	99,291円																